

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

環境教育、国際理解教育を中心として、人権教育、防災教育、キャリア教育などに研究を広げ、関連させながらESDを推進することができた。

- 生徒会を中心とした環境美化活動と3R活動（平成15年より継続）
 - ・ 毎週火曜日に学校周辺の地域清掃を行った。
 - ・ 書きそんじハガキ回収、古紙、ペットボトルキャップ、空き缶、プルタブ回収などは常時行っている。
- 学校行事に位置づけた環境美化活動（毎年）
 - ・ 皿倉山清掃登山（5月）
 - ・ 地域清掃（6月、9月、2月）
- 人権・平和教育の実施（毎年）
 - ・ 7月15日(水)に平和学習を行った。
 - ・ 11月18日(金)に全学年でテーマを統一した人権学習を行った。
世界の「識字問題」を取り上げ、自分と同年代の子ども達の置かれている状況を認識させ、世界のためにできることを考えさせた。
- 環境・人権講演会の開催（毎年）
 - ・ 10月18日(火)に「一つの出会いが人生を変える」と題して、「中村文昭さん講演会」を行った。
仕事と職業は違う。どんな職業についても、人を喜ばせるためにしなければ職業として成り立たなくなるなど、生きること、働くことについての心構えを話していただいた。
- モンゴルの子供たちとの交流会（隔年）
 - ・ 11月10日(木)に「太陽の子供たちと語ろう」交流会と題して、モンゴルの児童福祉施設の子供たちと生徒会役員との交流会を行った。
- 国際理解教育の実施
 - ・ 12月7日(水)に九州海外協力協会の職員を講師に招き、国際理解教育を行った。
1・2年生は参加型研修「世界がもし100人の村だったら」を体験した。活動を通して、世界の中には学校で学べない子供たちがたくさんいること、それが生活の中でどんな困ったことになるのかを学んだ。
3年生は参加型研修「貿易ゲーム」を通し、国と国との関係を体験した。5～6人構成の班ごとを国と考えてゲームを行った。他国との貿易を通して、自分の国だけでなく他国も一緒に栄えることや他国に援助する大切さを学んだ
この学習を通して、各学年の生徒が国と国との関係を深く考えた。
- ユネスコスクール全国大会への参加
 - ・ ユネスコスクール全国大会へ参加し、情報を収集することができた。
- 校長通信「尾倉便り」の作成および地域への配布
 - ・ 環境教育、国際理解教育を中心にした本校の取組を紹介する校長通信「尾倉便り」を月1回作成し、保護者や地域へ活動をアピールした。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）

国際理解教育（貿易ゲーム）



北九州市立尾倉中学校 ユネスコスクール年次報告書 (活動の内容を補完する資料)

国際理解教育

(世界がもし100人の村だったら)



モンゴルの子ども達との交流会



中村文昭さん講演会



人権・平和学習

「世界の識字問題」についての学習

